

第二次桜井市環境基本計画

自然と歴史と人が共生する悠久のふるさと さくらい
～豊かな自然と歴史と安全な暮らしを未来につなぐ～



桜井市

環境基本計画とは

環境基本計画とは、良好な環境の保全と快適な環境の形成に向けて、目指す環境像を示し、目指す環境像の実現に向けての施策を示す本市の環境面のマスタープランです。

本市の上位計画である、「第5次桜井市総合計画」で掲げている将来都市像の実現に向けて、環境面から具体化を図ります。

目標年次

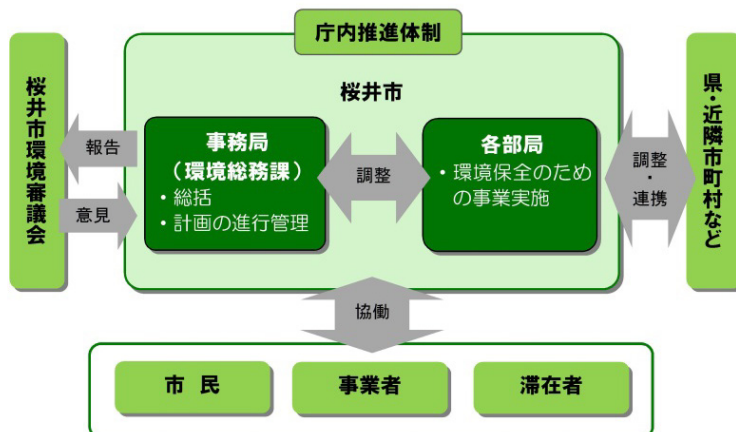
平成 29（2017）年度から平成 38（2026）年度までとします。

対象区域

桜井市全域を対象とします。

計画の推進体制

桜井市環境基本計画の推進にあたり、市・市民・事業者・滞在者それぞれが、自発的な活動を促進しながら、一体となって協働の取組みによる環境保全活動を進めます。

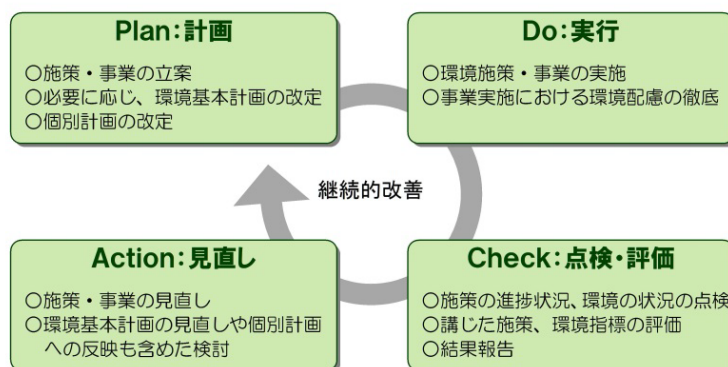


計画の進行管理

計画の進行管理には、環境マネジメントシステムの考え方に基づき、PDCAサイクル

- Plan（プラン：計画）
- Do（ドゥ：実行）
- Check（チェック：点検・評価）
- Action（アクション：見直し）

を用いて継続的に点検評価を行います。



桜井市の現状

●自然環境

- ・ 国定公園区域に指定（大和青垣・室生赤目青山）
- ・ 古墳や社寺で豊かな樹林を保全
- ・ 県下でも有数のスギ・ヒノキの人工林を有する
- ・ 農業・林業従事者の減少と高齢化が進行
- ・ 耕作地やため池の減少
- ・ 森林や里山林の荒廃
- ・ 野生動物に農作物被害が増加
- ・ 市民アンケートで「公園・緑地」の満足度が低い

●生活環境

- ・ 河川の汚濁を示す指標の BOD 値は、環境基準を満足しているものの、アンケートでは「水のきれいさ」の満足度が低い
- ・ 市民アンケートにおいて「空気のきれいさ」の満足度が高い
- ・ 生活排水処理は、し尿収集・単独処理浄化槽から公共下水道・合併浄化槽へ徐々に移行しているものの、地理的要因が大きく、下水道普及率は県平均と比較して低い

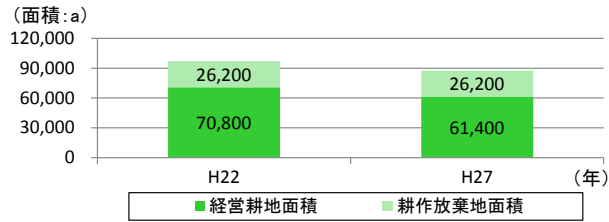
●地球環境

- ・ ごみの有料化が行われた平成 12 年以降、総ごみ量は減少傾向
- ・ 市民アンケートで「ごみの分別マナーの良さ」は満足度が高いが、「ポイ捨て・不法投棄」の満足度が低い
- ・ 事業所アンケートで既に取り組んでいる項目は「省エネ対策」が最も多い
- ・ 太陽光発電の契約口数は増加傾向
- ・ 奈良県における CO₂ 排出量は、増加傾向

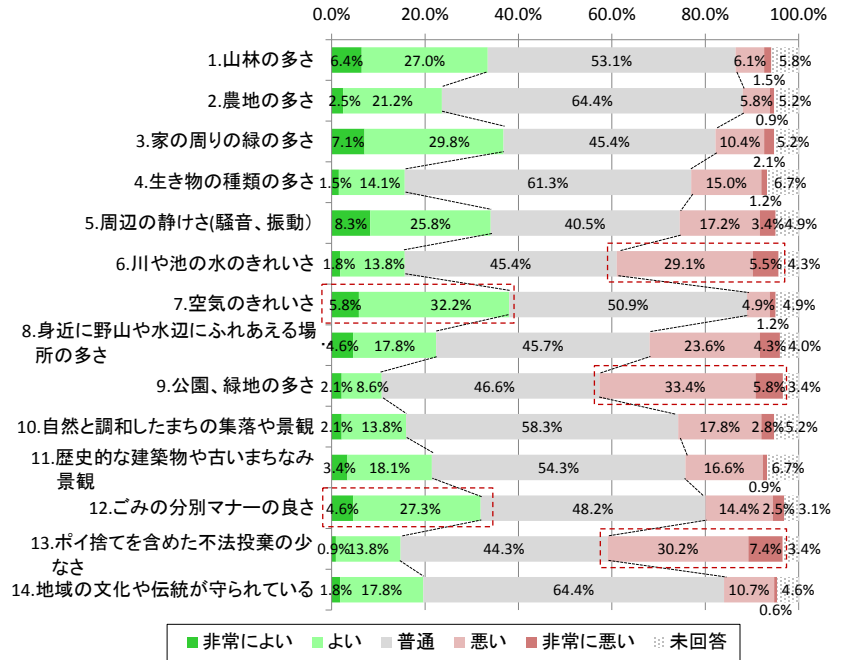
●歴史・文化・景観

- ・ 3地区が歴史的風土保存区域に指定（石上三輪・鳥見山・磐余）
- ・ 社寺や古墳等、数多くの文化財が存在
- ・ 三輪そうめん、笠そばなど地域の風土を活かした食品を製造
- ・ 市主催の環境フェアを毎年開催
- ・ 山の辺の道の美化促進協議会や、大和川水環境協議会などを通じて環境保全の取り組みを実施

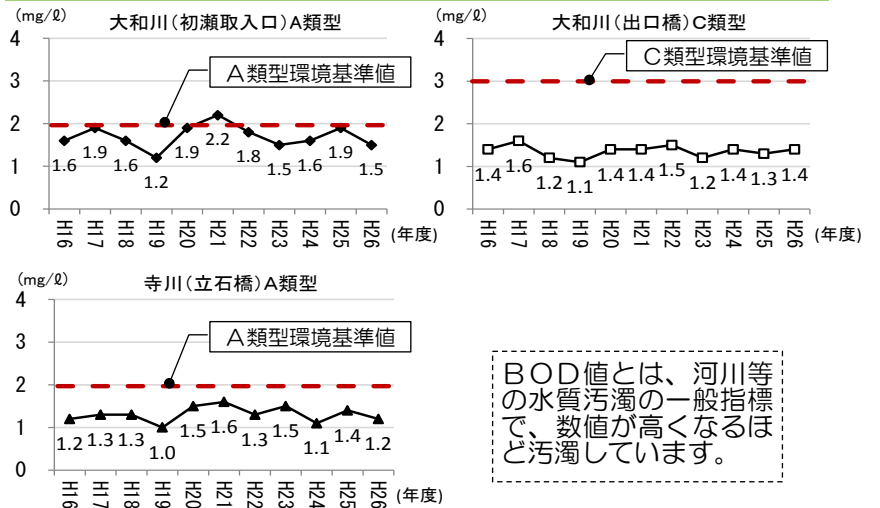
農地面積の推移



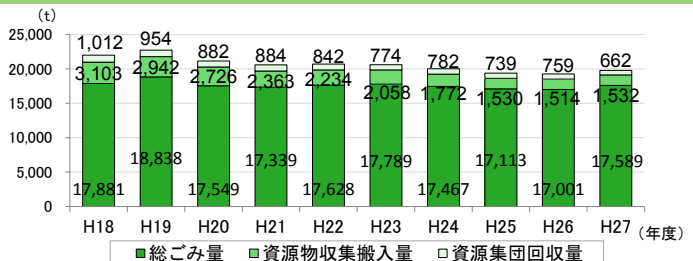
アンケート 住んでいる校区の環境についての満足度



河川の水質 (BOD) 値の推移



総ごみ量と資源物収集の推移



桜井市が目指す環境像

桜井市では、市・市民・事業者・滞在者が一体となって、良好な地域の環境を築くとともに、市民の安全・安心な暮らしを確保し、地球環境保全をも視野に入れた持続的発展が可能な社会の実現を目指します。

また、目指す環境像の実現に向けて、5つの基本目標を掲げ、総合的かつ計画的に施策を展開していきます。

目指す
環境像

自然と歴史と人が共生する悠久のふるさと さくらい

～豊かな自然と歴史と安全な暮らしを未来につなぐ～

基本目標1

大和まほろばの豊かな自然を育む

基本目標2

誰もが健康で安全に過ごせるまちをつくる

基本目標3

地球にやさしい行動を実践する

基本目標4

大和まほろばの歴史や風土、文化を未来につなぐ

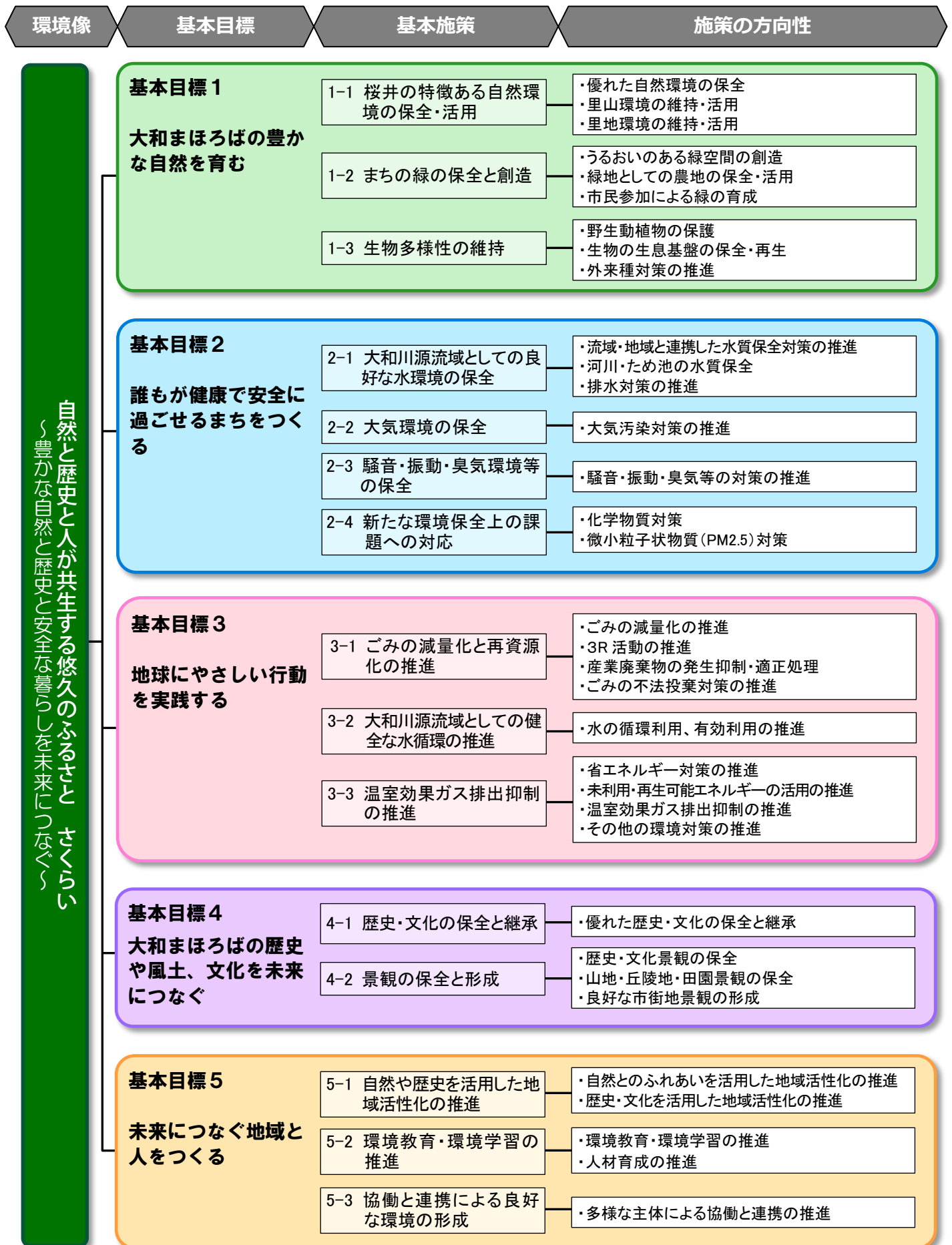
基本目標5

未来につなぐ地域と人をつくる

主体別の役割

主体	主な役割
市	<ul style="list-style-type: none">桜井の豊かな自然環境や歴史文化の保全・活用に努めます。環境保全に向けて適切な監視・指導や情報発信等を行います。事業活動での地球にやさしい行動に率先して取り組みます。市民、事業者、滞在者が環境に配慮した行動への取り組みを支えます。
市民	<ul style="list-style-type: none">桜井の豊かな自然環境や歴史文化の重要性、日常生活が与える環境への負荷を理解し、環境に配慮した行動を実践します。市の取り組みやボランティア等の各種活動に積極的に協力・参加します。
事業者	<ul style="list-style-type: none">農林業の維持・振興に努めます。事業活動での汚染物質等の発生防止と、環境に配慮した行動に取り組みます。市や市民の取り組みを支援します。社会的責任の一つとして、ボランティア活動に積極的に参加します。
滞在者	<ul style="list-style-type: none">桜井の豊かな自然環境や歴史文化への理解を深め、維持・保全に協力します。市民・事業者・市等による環境保全の取り組みに協力します。

施策の体系



具体的な施策

基本目標1

大和まほろばの豊かな自然を育む

環境指標

指標	現状値	目標値 (H32年)
「農林業の振興」が達成されたと感じる市民の割合	29.6%	50%
公園の清掃ボランティア参加数	1,179人	2,000人

具体的な施策（抜粋）

- ・優れた自然環境の保全
- ・「木材のまち桜井」として、計画的な森林造成と林地の適切な管理・保育
- ・森林の多面的機能が発揮できるような保全・整備の推進
- ・市民等の参画と協働による農地やため池等の維持・活用
- ・公園・緑地の計画的かつ適正な配置の検討
- ・公共施設・公共空間の緑化の推進と、市民・事業者等への屋上緑化や敷地内緑化の働きかけ
- ・県と連携した外来種対策の推進

基本目標2

誰もが健康で安全に過ごせるまちをつくる

環境指標

指標	現状値	目標値 (H32年)
放流河川の水質	5mg/ℓ	5mg/ℓ

具体的な施策（抜粋）

- ・大和川水環境協議会での市の役割の推進
- ・県と連携した河川や地下水等の水質の監視や、市民等への意識啓発の推進
- ・ごみ等の不法焼却防止に向けて、市民への意識啓発と指導の推進
- ・県と連携した化学物質対策の推進と、PM2.5の監視と迅速な情報発信の推進

基本目標3

地球にやさしい行動を実践する

環境指標

指標	現状値	目標値 (H32年)
「資源循環の推進」が達成されたと感じる市民の割合	68.5%	70%
1人1日あたりのごみの排出量	776g	703g

具体的な施策（抜粋）

- ・3R活動の推進と市民等への意識啓発
- ・不法投棄に対する監視と適切な対応の実施
- ・森林の水源かん養機能の保全・向上に向けた、森林の適正な管理・整理の推進
- ・雨水や地下水の利用等、水の循環活用や有効利用と意識啓発
- ・省エネ行動の啓発、事業所の自主的取組みへの支援
- ・未利用・再生可能エネルギーの活用促進



◀ 高齢者福祉センター
(竜吟荘)
太陽光発電設備を設置

基本目標4

大和まほろばの歴史や風土、文化を未来につなぐ

環境指標

指標	現状値	目標値 (H32年)
「歴史文化の保全と活用」が達成されたと感じる市民の割合	78.3%	85%
文化財関連施設の利用者数	10,000人	15,000人
歴史的風土保存区域面積	1,226ha	1,226ha
「景観の保全と活用」が達成されたと感じる市民の割合	68.8%	70%
良好な景観の形成に関する取組み	—	最終目標 0

具体的な施策（抜粋）

- ・埋蔵文化財センターを拠点とした文化財の保存・研究等の推進、纏向遺跡等の史跡の調査や公有化、公園整備等の推進
- ・市民・事業者・滞在者等のマナー啓発
- ・桜井市景観計画に基づいた良好な景観の保全・形成
- ・市街地での花や樹木等による緑化と適正な管理や、屋外広告物等の規制による良好な景観の形成

基本目標5

未来につなぐ地域と人をつくる

環境指標

指標	現状値	目標値 (H32年)
「環境教育の推進」が達成されたと感じる市民の割合	49.1%	70%
環境保全に係る活動への参加者数	1,660人	2,500人
「協働の地域づくり」が達成されたと感じる市民の割合	44.3%	70%

具体的な施策（抜粋）

- ・イベント等を通しての自然や歴史とのふれあいの機会の創出
- ・桜井の特色を活かした産業体験や農業・林業体験等を通じた交流と地域の活性化手法の検討
- ・環境特性を活かした環境教育・環境学習のプログラムの検討
- ・県と連携した環境学習や歴史体験を指導できる人材育成の推進
- ・桜井の生活文化としてエコライフの定着
- ・市・市民・事業者・滞在者等による協働と連携の推進



▲環境フェア

地域別の環境配慮指針

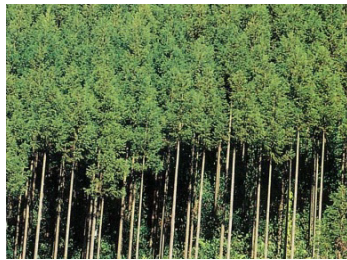
各地域における特色を踏まえて、それぞれの地域における環境特性を発揮することを目指して、市域を「西部エリア」・「東部エリア」・「南部エリア」の3地域に区分し、地域別の環境配慮指針を定めます。



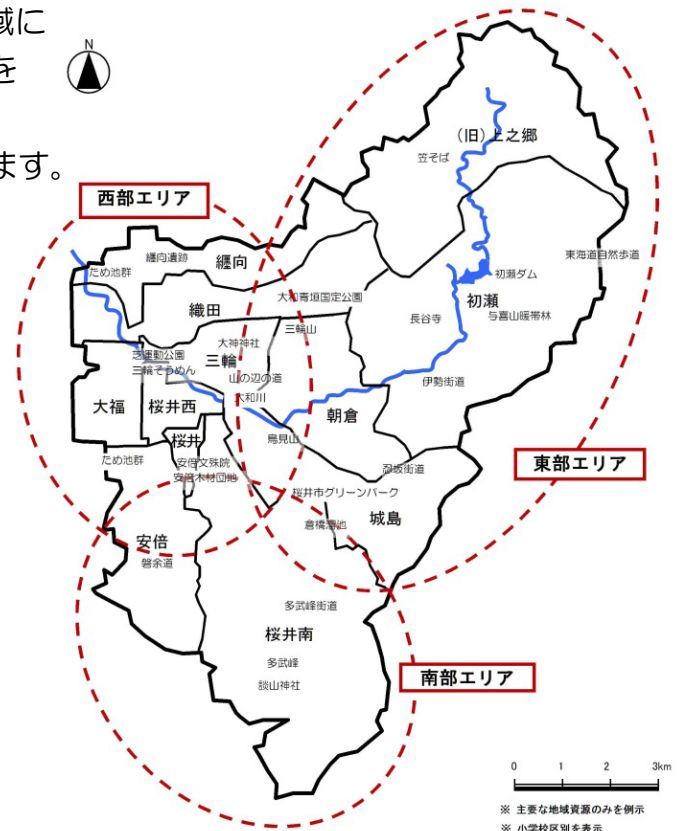
▲三輪山と桜井市街地



▲棚田と里山（吉隠）



▲スギ林



◆エリア別の環境配慮指針（抜粋）

西部エリア 万葉のふるさと さくらの まちと歴史、田園環境の保全と創造

- ・市民や事業者との協働等の様々な手法を活用した、ため池や農地の適切な保全・活用
- ・県との連携による、工場・事業所からの汚水流出の防止や排水規制等の適正な監視・指導の実施
- ・公共施設での未利用・再生可能エネルギーの導入検討
- ・大神神社や長谷寺などの自然と一体となって形成される歴史的風土の保全・継承
- ・三輪山麓でのそうめんづくり等の地場産業を活かした交流と地域の活性化の推進

東部エリア 大和の源流 さくらの 里地・里山と原生林環境の保全と継承

- ・ボランティア・企業・市民等の参加による里山や農地の保全と、環境学習や交流の場としての活用
- ・大和川流域に位置する市としての流域の水質改善の推進
- ・山林や河川等へのごみの不法投棄に対する適正な監視と指導、広報活動等の推進
- ・桜井市景観計画に基づいた、初瀬地区等の重点景観区域でのよりきめ細やかな景観形成の推進
- ・上之郷のそばづくり等の地場産業を活かした交流と地域の活性化の推進

南部エリア 木のまち さくらの 町並みと森林環境の保全・創造

- ・「木材のまち 桜井」としての計画的な森林造成と、植林地の適切な管理・保育の推進。
- ・ピオトープ整備による動植物の生息・生育環境の保全・創造等の自然再生の推進
- ・「木材のまち 桜井」としての木質バイオマスの導入検討
- ・多武峰景観保全地区の談山神社の歴史と自然林が一体となった良好な環境と眺望の保全
- ・林業体験を通じた環境教育・環境学習の推進

第二次桜井市環境基本計画【概要版】 発行・編集 桜井市環境部環境総務課

■お問い合わせ先

〒633-0052 奈良県桜井市大字浅古 485 番地の 1
E-mail greenpark1@city.sakurai.lg.jp

TEL 0744-45-2001 FAX 0744-45-2002
HP アドレス <http://www.city.sakurai.lg.jp/>